

作成番号:0163

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2024-163

内容:飲酒、喫煙、食習慣の頭頸部がん発症リスクは？

出典:Smoking, Drinking, and Dietary Risk Factors for Head and Neck Cancer in Prostate, Lung, Colorectal, and Ovarian Cancer Screening Trial Participants.

JAMA otolaryngology-- head & neck surgery. 2024 Mar 01;150(3);249-256.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/38329760/>

飲酒、喫煙ががん罹患リスクと関連するとの報告は多いが、頭頸部がんと飲酒、喫煙、食習慣との関連を、米国・ワシントン大学の研究者らが調査して、JAMA Otolaryngology 誌オンライン版 2024 年 2 月 8 日号に掲載した。

前立腺・肺・大腸・卵巣がん検診に関する臨床試験参加者において、55～74 歳、1993 年 11 月～2001 年 7 月に全米 10 施設で調査された。頭頸部がんを発症した参加者は対照群とマッチングされ、データ解析は 2023 年 1～11 月に行われた。139,926 例(女性 51%、平均年齢 62.6 歳)が解析の対象で、571 例が頭頸部がんを発症した。喫煙に関連した頭頸部がんのリスクはがんの部位が肺に近いほど増加し、リスクが最大だったのは喉頭がんだった(ハザード比[HR]:9.36、95%信頼区間[CI]:5.78～15.15)。飲酒と食習慣の解析には、喫煙解析例のうち 94,466 例が含まれ、264 例が頭頸部がんを発症した。頭頸部がんリスクは大量飲酒で増加(HR:1.85、95%CI:1.44～2.38)した一方で、全粒穀物の摂取(1 オンス/日、HR:0.78、95%CI:0.64～0.94)、果物の摂取(1 カップ/日、HR:0.90、95%CI:0.82～0.98)、Healthy Eating Index 2015 でスコア化した健康的な食事の摂取(10 ポイント、HR:0.87、95%CI:0.78～0.98)で減少した。

喫煙に関連する頭頸部がんのリスクは、肺に近い部位ほど大きく、大量飲酒はより大きな頭頸部がんのリスクと関連したが、健康的な食事はリスクの緩やかな低下と関連した。

FIGURE 7

Increasing Cancer Risk

